

講習の名称	【選択】発育資料のまとめ方、活用の仕方
講習の概要	健康診断等で得られる子どもたちの身体計測データのまとめ方と活用の仕方について学びます。これらの発育資料は個人の発育の評価や肥満の判定に用いられるだけでなく、集団の健康水準の評価などにも利用されています。発育資料を横断的にみるばかりではなく、縦断的に追跡することも、健康情報として活用するためには大切です。※【選択】発育資料のまとめ方、活用の仕方（8月8日）と重複して申し込むことはできません。
担当講師	新井 猛浩（地域教育文化学部担当教授）
講習開設日	平成30年8月9日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県鶴岡市
会場・教室	農学部3号館2階201講義室
対象職種	養護教諭
主な受講対象者	養護教諭
受講予定人数	18人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	発育資料（身長などのデータやそれらをまとめたもの）を用意できる方は持参してください（任意）。電卓を持参してください。
評価基準	すべての時間出席していること。筆記試験の得点が60点以上のこと。
評価の観点	講習内容を理解し、説明（記述）もしくは実践できるか否か。
その他特記事項	